

情報共有

非管理メモ

手荷資料

12/21 12:30+ix

(1枚)

東京電力株式会社  
NISA ← プレス交換

12月21日 福島地域支援室における9時00分からの定例レク概要をお知らせします。

12/21 (水) 9時定例レク概要

■レク出席人数: 10名 (記者7名、県1名、警察1名、自衛隊1名)

■レク実施時間: 9:01~9:17

【説明内容】

①福島第一原子力発電所プラント関連パラメータ (12月21日 6:00) [資料配付]

②セシウム吸着塔一時保管施設の設備について [資料配付]

※幹事社を通して電子データ配布済み

③TOPICS (作業実績・予定等) [口頭説明]

<実績>

新規事項なし

<予定>

○2号機の滞留水について

・プロセス主建屋および減容処理建屋へ移送予定。

○2号機PCVガス管理システムについて

・蓄積封入量と排気量のバランスのため、格納容器への封入 ( $16 \rightarrow 10 \text{m}^3/\text{h}$ へ) と

格納容器ガス管理システムの排気流量 ( $40 \rightarrow 32 \text{m}^3/\text{h}$ へ) を調整予定。

○5号機RHR (A) について

・本日、RHR (A) 確認運転のため、RHRの日系を停止予定。

・原子炉の冷却はRHR (A)、仮設RHRsにて継続。

○6号機T/B建屋から仮設タンクへの滞留水移送について

・本日の予定なし。

○セシウム吸着装置について

・ベッセル交換予定なし。

○福島第二MP7について

・7月から仮設建物に設置していたが、本設建物が昨日完成。

・本日、測定9~17時の間停止予定。その間で、計器の切替、校正等を実施予定。

【主な質疑】

Q. 現在の仮保管施設にはどれくらいあるのか。

A. 312体ある。内訳はキュリオン284体、サリー28体。

本日の週報では新しいデータをお知らせできるが、全316体になると思う。

S Q. 今のペースで吸着塔が増えると、新しい施設はいつ頃まで持つのか。

S A. 年度内は問題ない。仮保管施設も空いてくるが、それ以上は今後の検討になる。

以 上

2011年12月22日 9時03分

東京電力(株)原子力立地 会議室

No. 2063 P. 5

情報共有 (改非公開) 参照資料

12/21 20:00 JST

NISA班 ← フルスカウト ← 東京電力株式会社

12月21日 福島地域支援室における17時00分からの中長期ロードマップ会見  
(政府:保安院・東京電力) の概要について下記の通りお知らせします。

日 時: 12月21日 (水) 17:00~17:43

場 所: 自治会館3階303会議室

発表者: 原子力災害現地対策本部 広報班長 木野 正登 氏 (兼司会)

小森常務、福島地域支援室長、サイクル企画GM

出席者: 13名 (記者12名、福島県1名)

- ・冒頭、木野班長から発表までの流れ (政府・東電中長期対策会議等)  
について説明。
- ・小森常務より、発言 (お詫び・挨拶)。
- ・GMより、要点を説明 (主に以下について)。
  - ・期間の区分 (第1期~第3期) と主要目標について。... 概要版・添付資料1~1
  - ・SFPからの燃料取り出しに係る作業ステップ... 添付資料2
  - ・燃料デブリ取りだしに係る作業ステップ... 添付資料3
  - ・作業円滑化のための体制及び環境整備... 本文P23~
  - ・研究開発について... 別冊1の添付資料2 (~17:28)
- ・質疑 (~17:41)
- ・最後に、木野班長から、細野・枝野両大臣からの指示について説明。 (~17:43)

【質問】

Q. 今回の中長期ロードマップにおいて県民の関心が高いことは、「この工程が安全に進められるのか」「何か生じた場合の安全対策は担保されているのか」という部分と考える。それに関する記載は、どこに集約されているのか?

A. (小森常務) 安全確保の考え方については、本文の「3.」に記載している。これまで、保安院からのご指示で、中期的安全確保の考え方に基づく施設運営計画を提出している。30~40年と長期の取り組みにおいても、基本的には施設運営計画に基づくが、今後さまざまな作業が生じる中では、個別・具体的な作業方法について、各段階で安全性や環境評価を検討し、保安院に確認いただいたうえで作業を進め、安全性を確保していくと考えている。  
(小森常務) 本文P3~P4にかけて、中期的安全確保について記載している。これについては、既に保安院へ提出しており、現在、それに基づく保安規定認可をいただくところ。これらは、この3年をカバーする内容である。  
P3には、「必要に応じ、臨時中期的安全確保の考え方の個別事項を見直すとともに、少なくとも1年に1回全体的な見直しを行う」と書かれている。  
作業の進捗に応じて、しっかりと安全を確保していく。これは、3年以降においても全ての前提になるものと考える。

Q. 東京電力に聞きたい。今回の中長期ロードマップ実現において、一番の課題は何か?

A. (小森常務) 課題は数多くあり、どれが一番の課題かというのは、申し上げにくい。  
大きくは、技術的課題と基盤的課題とが挙げられる。  
前者は、デブリ取り出し等、さまざまな技術開発を一つずつクリアしあ用していかなければならぬ。これらは、長い時間かけて一歩ずつきめ細やかにやつていかなければならず、プロジェクトとして難しいチャレンジとなると考える。  
後者は、時間軸が長期にわたる中、持続的に進めるためには、人材育成を含めた基盤を持ち続けなければならず、課題として大変重要と考えている。  
いずれにしても、安全を確保し、敷地の外の方に迷惑をかけないことを地道にやっていくことになる。  
さらに一つ挙げると、放射性廃棄物の管理および処分。取り出しに加え、「処分」も重要な課題である。

Q. 主要スケジュールを見ると、デブリ取り出し以降は、ほとんど研究開発。これらは、確立目途があるのか?たとえば、高線量の中でも作動できる除染ロボットが可能なのか等、疑問を抱いているのだが...  
A. (木野正登) TMI事故の技術開発で、適用できるものがある。除染においても、いくつかはTMIの技術が使えると考えている。  
ロボットにおいては、現状使用できるものと、今後開発するものをうまく組み合わせて、遠隔技術に取り入れていきたい。  
また、PCVの補修作業は、世界でも例がなく、難しい技術となる。水中

でのデブリ取り出しについては、基本的にTMIの技術が使えると思うが、  
底部分の取り出しについてはかなりの工夫が必要になると思う。  
世界中の良い技術を活用して、早く確実に達成していきたい。

Q. RPVの水張りをしても、建物の強度は問題ないのか?

A. ( ) 水であれば、問題ない。

強度については、今後確認し、必要があれば補強を考えていくことになる  
と思う。

< ( ) >

Q. 人員について、ステップ1・2の実績人数は、約14,100人もあるが、

社員と協力企業の内訳は? ほとんどが、協力企業か?

A. ( ) ほとんどが協力企業。社員は、約800人程度。

Q. 協力企業の要員確保の目途は?

A. ( ) 今後、協力企業と話し合いをさせていただきながら、要員を  
確保していくことになる。

以上

情報共有

(原則非公開)(中)

手許資料

東京電力株式会社

NISA会員 ← フリースペース

12月21日 福島地域支援室における19時30分からの定例レク概要をお知らせします。

## 12/21 (水) 19時30分定例レク概要

■レク出席人数: 9名 (記者6名、県1名、自衛隊1名、警察1名)

■レク実施時間: 19:32~19:56

## 【説明内容】

①福島第二原子力発電所プラント状況等のお知らせ (12月21日 午後3時現在) [資料配付]  
・4号機原子炉格納容器内の目視点検終了について

②福島第一原子力発電所 サンプリング関係 [全て資料配付]

- ・空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第二百七十一報)
- ・海水中の放射性物質の核種分析の結果について (第二百六十四報)
- ・取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について (12月20日採取分)
- ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

③福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について (第26報)

④TOPICS (作業実績・予定等) [口頭説明]

## &lt;実績&gt;

○2号機の凝留水について  
・T/B地下階からプロセス主建屋および減容処理建屋へ13:57移送開始。○2号機PCVガス管理システムについて  
・露素封入量と排気量のバランスのため、格納容器への封入 ( $16 \rightarrow 10 \text{m}^3/\text{h}$ へ) と  
格納容器ガス管理システムの排気流量 ( $40 \rightarrow 32 \text{m}^3/\text{h}$ へ) を調整予定。○2号機SFPフロー要素の点検について  
・点検のため冷却を停止中、本日プール水温度19、3°Cと3、9°C上昇。○5号機RHR(A)について  
・本日、RHR(A)確認運転のため、RHRのB系を停止。  
→11:28~12:49の間、確認運転を実施済み。結果は問題なし。○福島第二MP7について  
・7月から仮設建物に設置していたが、本設建物が昨日完成。  
・本日、測定9:11~15時の間停止し、計器の切替、校正等を実施済み。工事終了。○淡水化装置RO-2について  
・再起動し、状態を監視していたが、問題なし。

## &lt;予定&gt;

○注水ホースの取替えについて  
・1、3号機から1、2号機ポンプへ切替、3号機ホースを取替え予定。○1号機の露素封入量の調整について  
・格納容器への封入量を  $18 \rightarrow 13 \text{m}^3/\text{h}$ へ、ガス管理排気流量を  $30 \rightarrow 28 \text{m}^3/\text{h}$ へ。○ベッセル一時保管庫への試験的移送について  
・14時~15:50の間、サリーベッセル2塔を移送済み。  
・年内は6塔予定。本格移送は来年から。

⑤人事異動 [資料配付]

## ●以下は、レク時に配布せず“投げ込み”のみ実施

- ・福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (12月21日 午後3時30分現在)
- ・福島第一原子力発電所の状況

## 【主な質疑】

Q. 福島第二の原子炉格納容器内の点検はいつまで実施するのか。目処はあるのか。

A. まだ目処はたっていない。これからスケジュールをたてていく。

以上